やまねっと通信

第23号
2019・7

発行：社会福祉法人やまねっと
〒242-0028 大和市桜森3－4－2 大和泉の森作業所内 TEL 046-282-9018

社会福祉法人やまねっと２０１９年度事業計画

３０年続いた平成が終わり、５月からは新元号「令和」となりました。また、１０月には何度も先送りになっていた消費税が１０％に引き上げられます。日本においては、今年も様々な話題がありますが、福祉においては、社会保障制度の維持の問題が１番ではないでしょうか。現在、２０４０年問題への対応が注目を浴びています。団塊の世代が７５歳以上になる２５年問題から、さらに高齢者が増えピークに達し、日本の社会保障制度が最大の山場を迎えるのが２０４０年とされています。この年には、福祉や医療の担い手は１０６０万人必要と見込まれています。現在の８２３万人で人手不足が叫ばれる中、国では健康寿命の延伸と医療・福祉の生産性向上を対策にあげています。障がい福祉分野においても、人材の確保は重要な課題となっております。ＩＴやロボットの活用も大事ですが、人と人がふれあってこその福祉が第一です。医療の充実、年金制度の維持等も含め、持続的な社会保障制度のありかたが求められており、社会福祉法人もいろいろな改革が議論されています。

やまねっとにおいては、昨年春に確定していた３番目のグループホーム建設予定地が浸水区域に該当していることが判明し、新たな候補地を探しておりましたが、上草柳において地主様のご協力を得て、グループホームを運営できる運びになりました。今年９月開所に向け準備を進めてまいります。

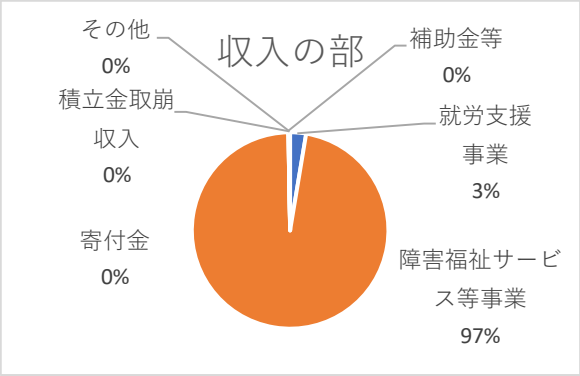
３１年度予算については、厳しい状況と言わざるを得ません。２年連続の赤字が見込まれ、空き定員の解消、事業事務支出の抑制等様々な手をうつとともに、事業運営に対して持続発展可能な方法を模索していかなければなりません。障がいを持つ方の地域生活を支えるのが、やまねっとの理念であり、収支バランスを考えながら今後も事業展開を図ってまいります。

社会福祉法人になり、まる６年が経過しました。本年度もご家族、地域の皆様、その他関係各位の皆様のご協力をいただきながら、障がいのある方たちが、地域で働き、遊び、暮らしていく、そういったあたりまえの生活がおくれるよう支援をしてまいります。

2019年度社会福祉法人やまねっと
予算の概要についてお知らせします。（事業活動による収支）
2019年4月1日より2020年3月31日まで

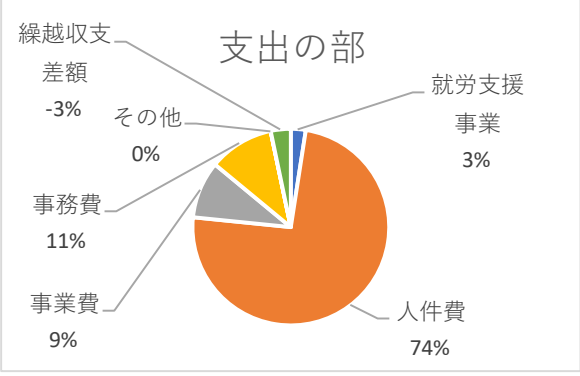
収入の部

就労支援事業	8,836,000
障害福祉サービス等事業	327,698,000
補助金等	0
寄付金	295,000
積立金取崩収入	0
その他	685,000
収入合計	337,514,000



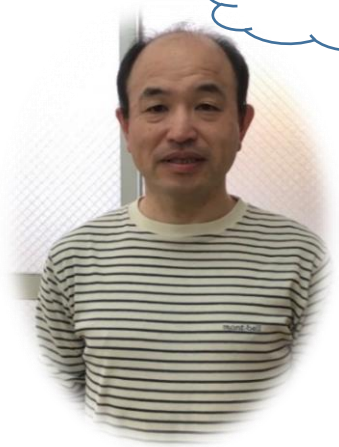
支出の部

就労支援事業	8,836,000
人件費	267,891,000
事業費	33,945,000
事務費	38,634,000
その他	75,000
繰越収支差額	−11,867,000
支出合計	337,514,000



やまねっとの新人職員を紹介します

さくら作業所（常勤）
今屋　明彦（いまや　あきひこ）
　初めまして、今屋（いまや）です。前職を定年退職した 60 歳の青年？です。「踊って歌える支援員」を目指してきましたが、いまだ修行足りずです。温かい目で支えて下さい。



みつば作業所（常勤）
工藤　康裕（くどう　やすひろ）
　福祉の仕事は初めてですが、スキーインストラクターの経験で培ったコミュニケーション力を活かしていきたいと思います。よろしくお願い致します。

すずな作業所（常勤）
星　早苗（ほし　さなえ）
　皆さまと楽しい時間を共有できればと思っています。不慣れでご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、何卒よろしくお願い致します。

やまねっとほーむ林間（常勤）
鈴木　圭子（すずき　けいこ）
　「ここは利用者さんが大切にされている」そう感じました。仲間に入れて下さい。よろしくお願い致します。

本部（非常勤）
太田 三樹男
（おおた みきお）
　泉の森利用者からやまねっと職員になりました。皆さんの作業所の掃除をしています。
よろしくお願い致します。

～新人職員研修～

　5 月 27 日（月）16 時 30 分～、8 名の参加で行いました。
薄葉理事長からやまねっとの沿革や支援者としての心構え等の話があり、皆さん真剣に聞いていました。新人職員の研修は今まで年 1 回の開催でしたが、今後は回数を増やしたり、内容の充実を図るという話が研修委員からありました。

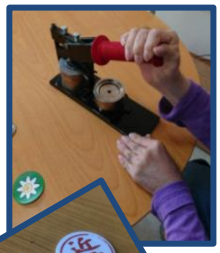
～大和市民まつり～

晴天に恵まれた 5 月 11 日(土)･12 日(日)に大和引地台公園で第 42 回大和市民まつりが開催されました。やまねっとは今年も自由広場に出店をさせていただき、缶バッジの販売を行いました。内容は「自分で好きな絵を描いて缶バッジを作ろう！」です。思い思いに描いた絵が缶バッジとして自分の物になった時の笑顔がとても素敵でした。そして、引地台中学校でのヤマトンコーナーではストラップ等、自主製品の販売を行いました。どちらのブースとも多くの家族連れに立ち寄っていただき、様々な方に「やまねっと」を知っていただく良い機会になりました。また野外ステージでは、やまねっとの利用者さんも多く参加している「ほっとハンド」の発表が行われました。

やまねっとの自主製品を紹介します！

今回は法人内で最初に開所した大和さくら作業所の自主製品を紹介します。制作する上での悩みと課題は、利用者さんが関われる場面が少ない事ですが、そんな中でも試行錯誤を繰り返して作っています。「うずまきコースター、鍋敷き」･「小物ケース(スマホも OK！)」等の麻ひもを使った製品。毛糸を使った「目玉くんストラップ(キャラクターの目玉の位置がそれぞれ違います！)」、や缶バッジがあります。

中でも 4 種類の缶バッジ「ヤマトン」･「さくら(利用者さんが描いた絵)」･「おなまえ」･「オリジナル」があり、中でも「おなまえ缶バッジ」は名札としても使用でき、作業所でも実際に使用しています。またパソコンを使った「オリジナル缶バッジ」は店舗の〇〇周年記念、行事やイベント用としても使用することが出来る為、リピーターも多数いらっしゃいます。これらの缶バッジは作成する個数等でお値段が変わってくるため、ご質問等ありましたら、大和さくら作業所(TEL＆FAX046-263-5900)までご連絡をいただければ、ご要望等にお答え出来ます。



ハートフル広場

５月１８日（土）、今年も大和中央シティライオンズクラブ様からご招待を頂きハートフル広場にさくら、のぎく、泉の森作業所が参加しました。今回は所長、支援員として初めての参加になった二人から感想を書いてもらいました。

「ハートフル広場」に参加して

泉の森作業所　所長　川久保　俊洋

５月18日（土）、大和中央シティライオンズクラブ様のご招待により、さくら、のぎく作業所と「ハートフル広場」に参加致しました。会場は中央林間ポラリス、今回はスーパーボール作りを行いました。販売されている製品の様にはいきませんでしたが（笑）各々綺麗な色のスーパーボールが出来ました。

そして昼食後は、図師たまみさんの歌のライブを楽しみました。とても盛り上がり、凄い方だなと思っていたところ、それもそのはず、アメフト日本一を決めるあのライスボウル二〇一三年の開会式東京ドームにて、国歌独唱をされた方でした。

同じ法人内とはいえ普段他の事業所の利用者さんとの関わりが少ない中、皆さんの明るい表情に触れ、スーパーボールのように心弾むひとときでした。

ハートフル広場に初めて参加して

のぎく作業所　後藤　潤一

のぎく作業所で働くようになってまだ１年半です。今回初めてハートフル広場に参加しました。のぎく作業所以外にも、さくら作業所、泉の森作業所のみなさんも一緒でした。また、今回の会場は、中央林間のポラリスという大和市の新しい建物でした。

まずは、主催してくださった大和中央シティライオンズクラブの方より挨拶がありました。その後も、障がい福祉課、さらに、ライオンズクラブ相模原の方からのご挨拶がありました。次に洗濯のりからスーパーボールを作りましたが、なかなか見本のようにはうまくいきませんでした。昼食のお弁当もボリュームがあったので、残す方もいました。と思いきや、デザートのケーキは皆さん別腹のようでした。午後は、歌の鑑賞ですが聴き慣れた曲には反応が大変よく、これからもいろいろな音楽にふれていただきたいです。

このような催しを毎年開催し、わたしたちを招いてくださる地域の皆さんには、本当に感謝の気持ちで一杯です。

薄葉理事長

大和中央シティライオンズクラブ
菊地会長

当日の様子

素敵な歌声を届けてくださった「図師（ずし）たまみ」さん

～季節のコラム～　　**「雨の季節に雨の言葉を集めてみては？」**

じめじめとした日が続き、洗濯物も乾かない、外出するにも億劫になってしまうこの時期。多くの人が好きではないと答えるであろう梅雨。

そもそも、なぜ梅雨に「梅」が使われるのかというと、元々中国から伝わった言葉で梅の実が熟す季節からこの漢字をあてたそうで、伝わった当時は「ばいう」と読んでいたものが江戸時代に「つゆ」という呼び方で一般的になったようです。また「五月雨（さみだれ）」という言葉がありますが、これは旧暦５月が現在の６月にあたるので梅雨の頃に降り続く雨の事となります。松尾芭蕉も「五月雨を　あつめて早し最上川」と詠んだように俳句の季語としてもお馴染みですね。

梅雨に限らず日本には雨を表現する言葉がなんと４００語以上あるそうです。過ごしにくい季節ですが、その言葉を集めてそれぞれがどんな雨なのかを調べてみれば雨の鬱陶しさを一時忘れることが出来るかもしれませんね。